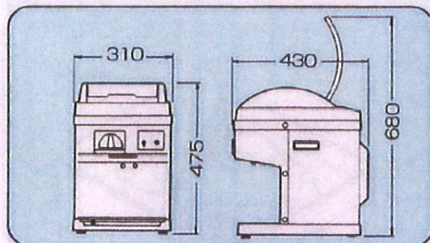


氷が削れない場合の原因と処置

症状	原因	処置	プロテクター	
回転しない	コード	●電源プラグの差込みが不完全 ●コードの断線	●電源コンセントに確実に接続してください ●コードの取替	
	モータブリー	●モータブリーが空回りしている	●ブリー取付けネジを締付ける	
	安全スイッチ	●スイッチの不良 ●コードの断線	●スイッチを取替える ●コードの取替	
氷削室(羽根)がゆるやかにしか廻らない又は廻らない	氷削室	●異物が羽根に引っかかっている ●羽根締付ナットがゆるんでいる	●異物を取り去る ●ナットをしつかり締付ける	●作動処置後プロテクターボタンを押す
	Vベルト	●Vベルトが伸びている ●Vベルトが切れかかっている又は切れている	●調節する ●Vベルト交換	
	刃物	●刃物取替時で刃が出過ぎ羽根に当たっている	●刃物を正確に取付ける	●作動処置後プロテクターボタンを押す
削れない	刃物	●刃物がひどく痛んでいる	●刃物交換	
	氷削室	●異物が氷削室の中に入っている	●氷削室の中を点検、異物があれば取除くこと	●作動処置後プロテクターボタンを押す
氷が細かくなったり粗くなりすぎる	刃物	●刃物の取付けが悪いが、刃が切れない	●刃物を正確に取付けるか刃物を取り替える	
		氷砕には影響はありません		
機械がゆれる	氷削室	●氷が片側に寄っている	●氷を平均に入れるか補充する	
	刃物	●刃物が切れなくなっている	●刃物交換	
		氷砕には影響はありません		
機械の設置面が濡れる	設置	●設置が安定(水平)しない	●設置面を確認し丈夫な板を敷く	
	排水ホース	●排水ホースの差込みが不完全	●差し込みを確認する	
	水受皿	●前のほうに出過ぎている	●中央部の機構まで奥に引ける	

寸法図



●仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更する場合があります。

仕様

- 電源 / 単相100V 50/60Hz
- 定格消費電力 / 180/155W
- 定格時間 / 30分
- 氷削能力(分/標準) / 1.2~2.6kg
- 氷砕能力(分/標準) / 5.7~10kg
- 外形寸法 / 横幅310×奥行430×高さ475mm ●重量 / 20kg
- 付属品 / 替刃1枚、排水ホース1本、クラッシュ氷用容器、水受皿1枚

池永鉄工株式会社

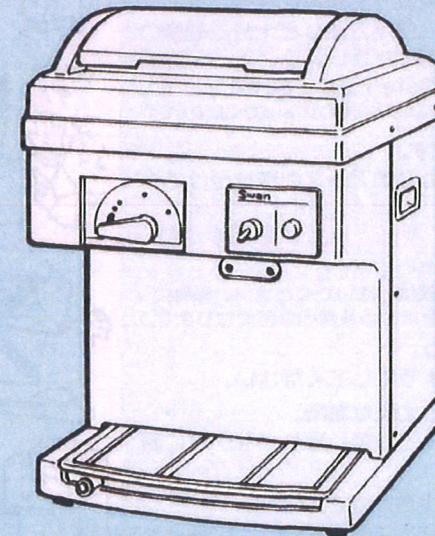
本社 大阪市東成区東今里3丁目18番26号 東京 東京都三鷹市下連雀3丁目42-15-603
 〒537-0011 池永大阪 (06)6981-0141(代) 〒181-0013 TEL (0422) 40-1160
 FAX (06)6976-8628 FAX (0422) 40-1180
 工場 大阪・四日市・南部

Swan®

取扱説明書

SC-15

バラ氷専用電動式氷削機(シェーバー クラッシャー 兼用型)

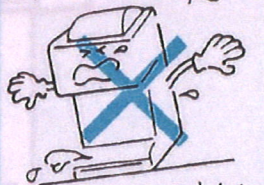
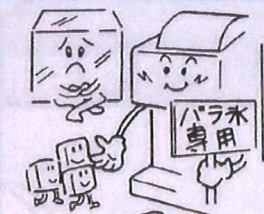


このたびはスワン氷削機をお買いあげいただきまことにありがとうございました。製品を正しく安全に使っていただくために、ご使用前に必ずこの説明書を十分にお読みください。また、お読みになった後は大切に保存してわからない時は再読してください。なお、製品の転売に際しても必ず共にお渡しください。

製品を正しく安全に使っていただくために これだけは必ず守ってください

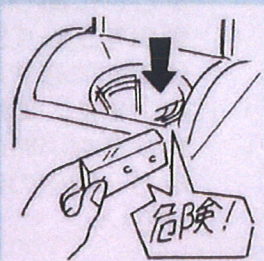
安全にご使用いただくために

- 本製品はバラ氷専用の業務用氷削・氷砕兼用機です。他の用途には、ご使用にならないでください。
- 本取扱説明書を最後までお読みになり、使用上の注意事項、使用方法など十分ご理解のうえで正しくご使用ください。
(お子様など正しい取扱いを十分知っていない人、正しい操作が出来ない人には絶対に使わせないでください。)
- 本製品は電気製品です。感電事故防止のため必ずアースを取り付けてください。
- 使用電源は、単相100Vをご使用ください。
△(タコ足配線、継ぎ線はしないでください。発熱による危険や電圧低下による故障の原因になります。)
- 本体に水をかけたり、水の中に入れてないようにしてください。
- 機械の設置は水平で丈夫な場所、また、水滴等が落ちてもし障りのない所に置いてください。
- 本体カバーは樹脂製ですので、直射日光の当たる場所や熱器具の近くに置いたり、お手入れ等でシンナー類を使うと変形や故障の原因になります。



⚠ 使用上のご注意

- 刃物は非常に鋭利で危険です。受傷しないよう取扱いには十分注意してください。
- 氷削室(円盤内)には絶対に、手を入れないでください。もし、お手入れ等で入れる時は、電源スイッチを切りプラグもコンセントから抜き、刃物の調節ツマミを左に廻して細かくしてから行ってください。



刃物の交換のしかた

- 刃物は1シーズンに2~3度お取り替えください。刃物が切れなくなった時は付属刃物と交換してください。
- 新しい刃物のお求めは、製品を購入したお店にご相談ください。
- ステンレスの刃物は研磨することは困難です。新しい刃物と交換することをおすすめします。

取り外し方

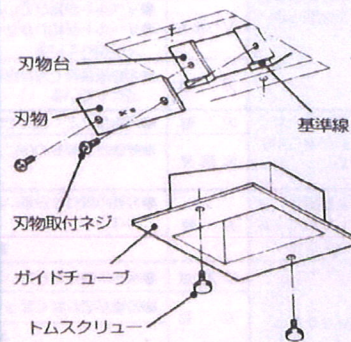
(刃物に気をつけてはすしてください。)

1. 氷出口のガイドチューブ取付ネジ2本をはすしてください。
2. 刃物取付⊕ネジ2本をはすしてください。刃物がはずれます。

取り付け方

1. 新しい刃物(SC-15のマークが見えるように)を刃物台の基準線に正確につける。
2. 刃物取付⊕ネジを取付け、刃物が基準線から上がらないようにゆっくりと固定する。
3. ガイドチューブを取り付ける。

■刃物部取り付け図

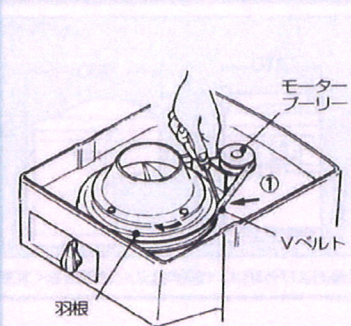


Vベルト調節方法 (取替方法)

●Vベルト調節方法

- フロントカバー上部に調節穴があります
1. 右の穴の⊕ネジを左に廻してゆるめてください。
 2. 左の穴の⊕ネジを右に廻してください。氷を入れて正常に削られるようになればVベルトは張られています。
 3. 右の⊕ネジを右に廻してしっかりと止まるまで決めてください。

■Vベルト取付図



●Vベルト取替方法

1. ヘッドカバーをはすしてください。
2. ドライバーで矢印①の所をこじ開けるようにしながら羽根を矢印方向に廻すとVベルトははずれます。
3. 先にモーターブリーよりVベルトを入れ羽根にはめ込んで手で廻しながらVベルトをかけてください。

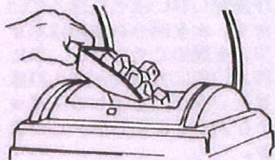
ご使用の しかた

- ご使用になる前に 水受皿に排水ホース（口径の細い方）をしっかりと差し込み、排水時濡れてもよい所にひいてください。

1 フタを開けて氷を投入してください。

氷は必要量だけ投入してください。

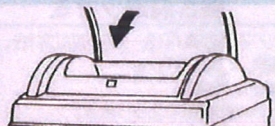
- 氷削室(回転筒)上部より1cm位少なめの量にしてください。氷が飛び出したり、フタが浮き上がりフタスイッチが作動しなくなります。
- 一度投入した氷は取り出すことはできません。



2 フタを閉めてください。

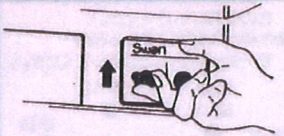
フタの内側奥に安全スイッチを取り付けていますので、フタを開けたままでは運転はしません。

- △(フタスイッチは故障の原因になりますから絶対に指先等で操作しないでください。)



3 スイッチを入れてください。

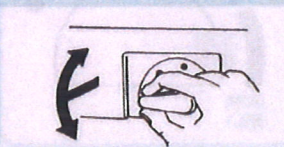
始動スイッチを上(入)にしますとモーター始動と同時に氷削を開始します。



4 氷の粗さ調節をしてください。

粗さ調節ツマミで氷削か氷砕かを選んでください。

- 粗さ調節はゆっくりと行ってください。
- 調節のしかたは「各部の名称と働き」をご覧ください。



5 容器で氷を受けてください。

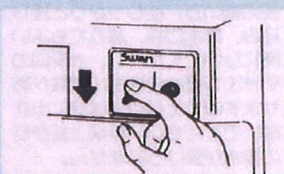
粗さ調節ができましたら氷の出る所に容器を持って行ってください。



6 スイッチを切ってください。

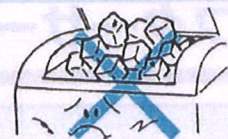
使い終わりましたら始動スイッチを下(切)にしてください。

- 氷削室には氷が残らないようにしてください。
- フタスイッチでの入・切はしないでください。また、使用しない時はフタは必ず閉めておいてください。



●氷の投入量は、

氷削室(回転筒)の上から約1cm以上空くようにしてください。多く入れすぎますと氷が飛び出し危険です。また、フタスイッチが作動しなくなります。



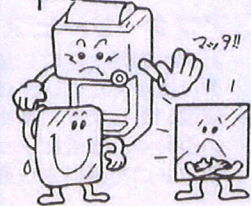
●氷以外の異物を

氷削室に投入しないようご注意ください。刃物の損傷、モーター故障の原因になります。



●冷凍庫に保管された白く硬くなった氷を、

すぐに削りますと刃物の損傷の原因になります。氷がある程度透明のゆるめた状態になってからご使用ください。また、氷は氷削室内に放置しないでください。氷が刃物部に溶けて食い込みモーターが廻らなくなり故障の原因になります。



●電源に発電機をご使用の場合は、

出力1.5kw以上の交流100Vの発電機をお使いください。出力1.5kw以下の場合、本機のモーターが焼損する恐れがありますので使用しないでください。

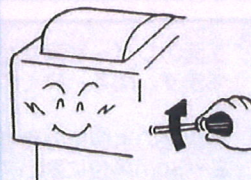
保守・点検

●使用前に必ず氷削室、氷出口を掃除して衛生的にし、

氷削室に氷以外の異物がないことを確認してください。

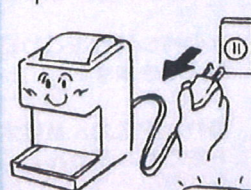
●常に安全に効率よくご使用いただくため定期点検をしてください。

刃物の先端部が摩耗したり折損したものを、そのままご使用になっておきますとモーターやベルト等に無理をかけることになり故障の原因となりますから早めに新品と交換してください。また、各部取付けネジがゆるんでいないか点検し、もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。



●一日の営業終了時、また異常および点検の時は

電源スイッチを切り、電源プラグもコンセントから抜いてください。プラグをコンセントから抜く時はコードを引っばらずプラグを持って抜いてください。



●シーズン終了後や長時間使用しない時は、

刃物を取り外し、手入れ後塗油し、油紙等で包み保管してください。本体は柔らかい布で水分を取り去り十分乾かしてから湿気の少ないところに重量物を上から乗せないようにして保管してください。



保証と アフターサービス

1 保証書 保証期間はお求めの日から1年間

この製品には保証書が添付されていますので所定事項の記入および記載内容をお確かめいただき、大切に保存してください。
(紛失されましても再発行はいたしません。)

2 アフターサービスについて

お求めの販売店にご連絡いただき、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理いたします。また、保証期間の過ぎている時は、修理によって機能が維持できる場合はご希望により有料で修理いたします。



本機の特長

1 正面のレバーを廻すだけで氷削、氷砕が選べます。削る、砕くの1台2役の働きもの。

2 製氷機の氷専用の機械ですがブロック氷も2~3cm角位に割って使用できます。

3 氷の持つ特性をこわさず、粗さの調節が簡単にできます。

4 優れた耐久力、音は大変静かでお店のムードをこわしません。

5 Vベルトの張力は調節可能です。

6 ヘッドカバー、フタ内部に安全スイッチが付いています。

7 モーター保護スイッチ(プロテクター)が付いています。



各部の名称と 働き

安全スイッチ (フタ内部)

フタが開いている時は、機械が運転しないようになっています。氷を削られる時は必ずフタを閉めてください。また投入口内に大量の氷を入れますとフタが浮き上がりスイッチが入らず運転しなくなります。

始動スイッチ

氷を削る時は、スイッチを上(入)にしてください。削り終わりましたら下(切)にしてください。

プロテクター (モーター保護スイッチ)

刃物部や回転部のトラブルでモーターが回転できなくなった場合にモーターの損傷(過電流が流れる)を防ぐために自動的に機械が停止します。この場合、電源スイッチを切り(プラグもコンセントからはずしてください)原因を取り除いてからプロテクターを押してください。モーターは自動的に復帰します。

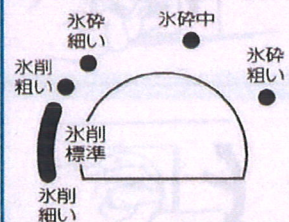
原因を取り除いた後中に押す
異常発生時、自動的にボタンは前に飛び出す

異常発生時 正常位置

粗さ調節ツマミ

ツマミの操作は一度手前に引き、廻してください。

- 氷削の場合… 氷削の範囲でえらべます。
- 氷砕の場合… 一度ツマミを手前に引きお好みの粗さの位置にしてください。
- 氷砕から氷削に変える場合… モーターを廻しながら行ってください。



フタ

ヘッドカバー

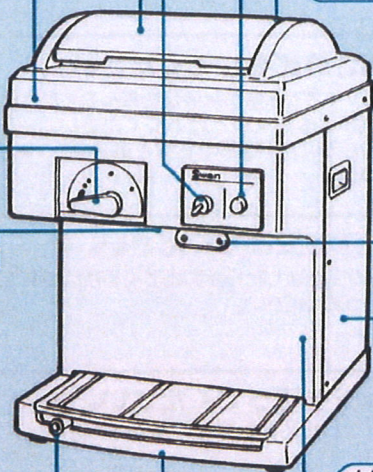
ベルト張力調節穴

ガイドチューブ

刃物

水受皿 (排水ホース差出口)

ご使用前に必ず排水ホース(口径の細い方)をしっかりと差し込み、排水口等、濡れてもよい所にひいてください。水受皿の引き出し量は中央部に横線がありますのでそれ以上は前に出さないでください。機械上部からの排水が受けられません。



ベース

台ゴム

フロントカバー

本体カバー (サイドカバー)